森林環境譲与税の使途一覧（令和元年度）

事業区分	事業名	事業総額（千円）			当年度基金への積立額（千円）	事業内容	針広混交林化、広葉樹林化に関係する事業	実績																				税導入の効果
								森林整備関係								人材育成・担い手確保対策					普及啓発（イベント等）			公共施設等の木材利用				
									間伐等実施面積			路網整備				（ケ）事業体等への助成		（コ）研修、講習、求人イベント等			（シ）研修や普及啓発イベント等			（セ）公共施設等の木材利用				
		(A)+(B)	(A)うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）				（ア）意向調査実施面積（ha）	（イ）間伐（ha）	（ウ）除伐（ha）	（エ）その他（作業種、実績値を記載）	（オ）林道・林業専用道の開設延長（m）	（カ）森林作業道の開設延長（m）	（キ）その他（作業種、実績値を記載）	（ク）その他	事業体数	支援対象者数（人）	回数（回）	参加者数（人）	（サ）その他	回数（回）	参加者・体験者数（人）	（ス）その他	施設数	木材使用量（m3）	（ソ）その他	（タ）その他	
⑮ 森林・林業・木材普及活動等	森林環境教育体験学習推進事業	275	275	0	0	町内各小学校において実施する宿泊学習における森林教育															5	350						【ワンフレーズ】 税活用により、 ・町内５小学校に在籍する小学５年生の児童、計350名を対象とした森林環境に関する体験教育を実施 ・木材を使用した備品等の町内公有施設への導入を目的とした基金を創設したことで、森林整備の促進に向けた取組の足がかりにつながった。 【詳細】 広陵町では、森林整備への理解の醸成がまだまだ進んでいない状態であることから、本税を森林整備活動の普及に活用し、森林整備への住民の理解を深めることに取り組んでいる。 結果、本年においては、町内に５つある小学校の小学５年生の児童、計350名に対して、森林環境に関する体験教育を実施した。 また、本税の残額については、令和２年度以降の公有施設への木材を使用した備品等導入に活用するため、基金に積み立てた。
⑲ 基金積立（木材利用等）	森林環境基金	1,289	1,289	0	1,289	次年度以降における木材利用備品等導入のための基金積立																						